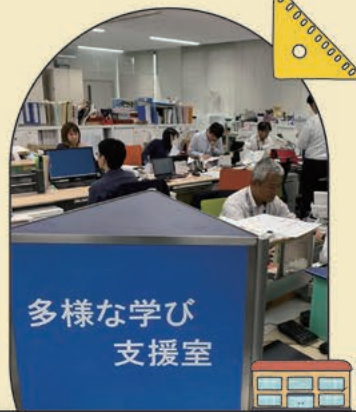


# もっと、 こども まんなか

education column

いま、学校教育を取り巻く環境は、大きく変わってきています。こどもたちの未来のため、教育DXの推進や不登校児童生徒への支援、部活動の地域移行、官民一体型学校など、武雄のこれからの教育について、一緒に考えてみませんか？



## Vol.02

### 誰一人取り残さない

新たに「多様な学び支援室」を設置

#### 学校に行けない理由はひとつじゃない

「不登校」という言葉に、どのような印象をもつでしょうか。文部科学省の調査によると、中学校の1クラスに2人は不登校の生徒がおり、10年連続で増加し続けています。多くのケースで、不登校の原因ははっきりしません。友だちや先生との相性といった外的要因や本人の情緒・発達に関連する内的要因があり、それらが複雑に絡み合っています。本人も保護者も、「なぜ学校に行けないのかわからない」と悩んでいることがほとんどです。

#### 自らの進路を主体的にとらえる

一言に「学校に行けない」といっても、「家から全く出られない」「学校に行けても教室には入れない」「ときどきなら登校できる」などさまざまなケースがあります。不登校児童生徒への支援の目的は、「『学校に行く』という結果のみを目標とするのではなく、自らの進路を主体的にとらえて、社会的に自立すること」です。将来を前向きに考えられるよう、学校を中心として、こどもたちを支援していく必要があります。

#### チームでの支援～誰一人取り残さない～

学校では、教職員だけでなく専門職なども加わり、チーム学校としてこどもたちに関わっています。今年4月に設置した「多様な学び支援室」では、不登校支援、特別支援教育の充実に取り組んでいます。特性による学びにくさや人との関わりの難しさが不登校につながるケースも少なくありません。不登校への支援と特別支援教育は、個に応じた支援という点では同じです。私たちはさまざまな部署と協力しながら、学校での取り組みを支えています。たとえば、福祉などの支援が必要であれば、「こども家庭課」と、タブレット端末を使った学びの保障であれば、「新しい学校づくり課」と連携しながら、こどもたちを支援していきます。これからも、未来を担っていくこどもたちの成長を温かく見守っていただけますと幸いです。



武雄市教育委員会  
学校教育課 多様な学び支援室 室長 武富 毅

### 武雄市の教育ネットワーク



令和5年度に開催した「こども教育会議」において、第3期武雄市教育大綱を策定しました。第2期までの教育大綱『組む』をさらに推し進め、こどもたちだけではなく、武雄に住み、働くわたしたちが未来を創るという決意を表明しました。これまで以上に、こどもをまんなかに考えとともに、多様性を受け入れ、ひとりひとりがこどもたちの為に動き出すことにより、さらなる武雄市の教育の充実に取り組みます。

- 指針1 地域社会で育ち合う
- 指針2 誰一人取り残さない
- 指針3 希望を持ち夢を実現する